

## 平成 24 年度 第 2 回土木計画学研究委員会 議事録

日時：平成 24 年 11 月 2 日（金） 14：30～15：50

場所：埼玉大学・工学部講義棟 1 階 51 番教室

### 出席者（敬称略，順不同，役職は新旧併記）

委員長：谷口栄一（京都大学）

副委員長：山中英生（徳島大学）

幹事長：兵藤哲朗（東京海洋大学）

学術小委員会委員長：溝上章志（熊本大学）

春大会運営小委員会委員：梶田佳孝（東海大学）

2013 秋大会開催校幹事長：内田敬（大阪市立大学）

委員：伊東英幸（日本大学），正司健一（神戸大学），白水靖郎（中央復建コンサルタンツ），古市正彦（JICA），岡本太郎（阪神高速）

委員兼幹事：井田直人（北海道工科大学），金子雄一郎（日本大学），紀伊雅敦（香川大学），嶋本寛（京都大学），鈴木弘司（名古屋工業大学），塚井誠人（広島大学），西形康太郎（JICA），日比野直彦（政策研究大学院大学），平田輝満（運輸政策研究機構），三輪富生（名古屋大学），森尾淳（計量計画研究所），吉田長裕（大阪市立大学）

研究小委員会：岡本直久（筑波大学），竹林幹雄（神戸大学），神田佑亮（京都大学），山田稔（茨城大学），横松宗太（京都大学），福田大輔（東京工業大学）

オブザーバー：尾崎史治（土木学会）

### 配布資料

資料 0：平成 24 年度 第 2 回土木計画学研究委員会 議事次第

資料 1：平成 24 年度 第 1 回土木計画学研究委員会 議事録（案）

資料 2：平成 24 年度土木計画学委員会 名簿

資料 3-1：土木学会土木計画学研究委員会「交通関連ビッグデータの社会への実装研究小委員会」の設置申請

資料 3-2：土木学会土木計画学研究委員会「鉄道技術・政策連合シンポジウム（J-RAIL）実行員会」の登録申請

資料 3-3：土木計画学国際展開小委員会（案）

資料 4-1：土木計画学研究委員会規則

資料 4-2：土木計画学研究委員会規則改正（案）

資料 5：平成 24 年度土木計画学研究委員会学術小委員会報告

資料 6-1：第 47 回土木計画学研究発表会（春大会）の概要および企画論文部門オーガナイザーおよび SS オーガナイザーの公募について

資料 6-2：企画テーマのセッション数決定と発表採否についてのお知らせ（送付予定）

資料 7：第 47 回発表会 開催校の準備状況-会場費見積もりについて-

資料 8-1：土木計画学研究委員会 小委員会・ワークショップ 活動状況

資料 8-2：参考資料：調査研究委員会における小委員会活動状況

資料 9-1：メーリングリストサービス契約について

資料 9-2：IPML 移行に関する調査について

資料 9-3：土木計画学研究委員会国際セミナーについて（報告）

資料 10：2013 年度秋大会（第 46 回）の準備状況

## 1. 委員長挨拶

谷口委員長より挨拶がなされた。

## 2. 前回委員会の議事録確認

前回委員会の議事録について確認がなされ、原案通り了承された。

### 【審議事項】

## 3. 委員交代

兵藤幹事長より、委員交代について説明がなされた。公募委員として今回 2 名の応募があったことが報告され（岡本太郎（阪神高速）、塚田幸広（国総研））。委員就任について了承された。阪神高速の岡本氏から挨拶がなされた。現公募委員である正司委員、白水委員は本日の委員会後に退任されることが報告された。

## 4. 研究小委員会の設置について（資料 3-1, 3-2, 3-3）

\* 「交通関連ビッグデータの社会への実装研究小委員会」

- ・ 福田東京工業大学准教授（当小委員会事務局長）より小委員会設置申請内容について説明がなされた。本大会中の日曜日にキックオフミーティングを開催し、その後、産官学のメンバー増強、研究会の開催等について検討を行う予定であることが報告された。

→ 小委員会の設置について了承された。

\* 「鉄道技術・政策連合シンポジウム（J-RAIL）実行委員会」

- ・ 金子小委員会委員より小委員会設置申請内容の説明がなされた。
- ・ 溝上学会小委員会委員長より、3 学会で持ち回りということだが、未収金があった場合はその補填等の対応義務について 3 学会間の役割はどのようになっているのか質問がなされた。土木学会尾崎氏より、各学会がそれぞれの学会員からの参加費等の集金を行っているため、他学会会員からの未収金を土木学会が補填するなどの対応をすることはしないこと、説明がなされた。

→ 小委員会の設置について了承された。

\* 「土木計画学国際展開小委員会」

- ・ 兵藤幹事長から福田敦副委員長の代理で小委員会の設置案の内容について、土木学会や JICA とのタイアップの可能性など、今後引き続き検討することとなっている旨など説明がなされた。
- ・ 日大伊東先生より、早急に小委員会アナウンス・公募行い、カリキュラムの検討等を行っていきたいこと、外部資金の獲得を模索していることが補足説明された。

→ 小委員会の設置について了承された。

## 5. 規則・細則の改訂について（資料：4-1, 4-2）

兵藤幹事長から規則の修正案について説明がなされ、原案通り了承された。細則については次回委員会までに対応して報告したい旨、報告がなされた。

## 6. 学術小委員会からの報告（資料 5）

- ・ 溝上学会小委員会小委員長より、論文集 Vol.29 の編集状況、編集に関する課題、2012 年度秋大会の実施状況について説明がなされた。課題については、特に著者側の責任について説明がなされた。この点に関しては本日の委員会報告の場でも強調したい旨、

報告がなされた。続いて、改善会議について説明がなされ、これまでに春大会委員会との合同で、春・秋・全国大会の役割などを議論したこと等について報告がなされた。最後に、学術小委員会からの土木学会論文賞の推薦がなされた。

- ・内田大阪市立大教授より、論文集 Vol.29 の論文修正依頼メールにおいて締め切りが示されていない点が指摘され、学術小委員会において経緯を確認することとなった。
- ・改善会議に関連して、兵藤幹事長より 2012 年度の全国大会の第 4 部門投稿数が少なかったこと（7 部門中最小）、谷口委員長より全国大会への積極的な参加依頼、企画セッションの活用可能性など、今後も検討を続けて欲しい旨説明がなされた。

#### 7. 2013 年度春大会の準備状況について（資料 6-1）

- ・梶田春大会運営小委員会委員より、第 47 回土木計画学研究発表会（春大会）の概要および企画論文分門・SS オーガナイザーの公募に関して説明がなされた。特に、企画オーガナイザーの権限、1 セッションの最低論文数、スケジュール変更、また若手論文部門の廃止等について報告がなされ、原案通り了承された。
- ・内田大阪市立大教授より、一人の発表上限に関する「原則として」という文言の意図について質問がなされ、塚井委員兼幹事より計画学研究委員会から特別企画セッションが立ち上げられる等への対応と考えられる旨意見が出された。
- ・塚井委員兼幹事より、2013 年度春大会の準備状況、会場の視察結果や会場の状況について説明がなされ、会場の費用の見積もりを進めている旨等が報告された。

#### 8. 2013 年度秋大会の準備状況について（資料 10）

内田教授から 2013 年度秋大会の準備状況について説明がなされた。懇親会の開催日が 1 日目、2 日目のどちらが良いか、同日に開催される大学祭の影響等が報告され、今後、学術小委員会とも相談しながら検討することとなった。

#### 9. 幹事会からの報告（資料 9-1, 9-2, 9-3）

- ・兵藤幹事長より、新しい計画学ウェブページが公開されたこと（本日午前）、IP メーリングリストの管理移行（土木学会→計画学）、国際セミナーの実施状況と講演証明書作成等について報告がなされた。
- ・谷口委員長より、ウェブページの英語化の進捗について質問がなされ、未対応である旨回答がなされた。
- ・紀伊委員兼幹事よりメーリングリストの移行に関して補足説明がなされ、土木学会からの要望理由（非会員の登録も多く、労力がかかるため会員サービスに専念したい等）、移行後に活用する IIJ という民間サービスの内容、非会員にも開放することの費用対効果、近日中にメーリングリストの移行手続きを開始する予定などについて説明がなされた。

#### 10. 研究小委員会からの報告（資料 8-1, 8-2）

本日出席している各研究小委員会の代表者から活動の現状と今後の予定等について報告がなされた。

(以上)

文責：平田輝満